

深川組仏教壮年会 研修旅行に参加して



西法寺仏教壮年会会長
古河和博

去る2月17日(土)に研修旅行が実施されました。
 この度は、福山市沼隈町にあり
 ます寶田院(大谷派)および光照
 寺(本願寺派)の2ヶ寺を巡りま
 した。
 寶田院は、後にお参りする光照
 寺開基、明光上人(めいこうしよ
 うにん)が隠居された寺院。
 開山時の寺号は「法伝院」。以後、
 幾度かの伽藍焼失や移転を経て、

慶長7年(1602)
 本願寺東西分派の際に
 東本願寺に帰属し、現
 在の福山市常石に寺基
 を移す。この頃、東本
 願寺第13代宣如上人よ
 りご消息を頂き、後に
 「寶田院」と寺号が変
 わりました。拝見させ
 て頂いた明光上人像や
 一流相承絵系図・光
 明本尊などは寺宝であるとともに県重要文化財に指定さ
 れた貴重なもので、時代の重さをひしひしと感じました。
 次に訪れた光照寺は、建久年間(1216)明光上人
 により創建。明光上人は宗祖親鸞聖人の教えを受け伝え
 られた鎌倉最宝寺住職にして、関東六老僧の一人であり、
 源頼朝とも繋がりがあったそうです。
 当地はもともと法華宗が盛んな地で、そこにお念仏の
 教えが入り込むことはとても困難なことでした。トラブ



▲ 寶田院本堂にて勤行



▲ 寶田院住職より
一流相承絵系図の説明

たのは、寶田院住職の東日本大震
 災の支援活動です。地区は不明で
 すが、福島では放射能や放射線の
 影響で遊泳禁止区域があるそうで
 す。毎年そういった地区の子供た
 ち約60名を招待し、福山市での海
 水浴等で交流を図っておられ、今
 年はこちらから大人を引率して福
 島に行かれる予定とのことでした。

震災から今年で7年。地道な活
 動を継続されていること、自他と
 もに心豊かに生きる社会の実現に
 向け奮闘されている姿に、感慨深
 い思いがしました。
 折しも平昌五輪の最中。男子フィ
 ギュア、羽生結弦／宇野昌磨両選
 手が金銀メダルを獲得。その様子
 をバスのテレビで見ながら、大い
 に盛り上がり、帰深したことです。
 「いつかは、組仏壮で本山参拝が
 できれば」と、深川組仏壮連盟/
 河野会長の挨拶でした。

紙写真)
 当時の主たる物流は船であり、鞆
 の浦の背後に位置する此の辺りは、
 有力な豪族が存在していたことが容
 易に想像できます。

今回の研修旅行で特に印象に残っ



▲ ▼ 鞆の浦 散策

